

航海・計器 学習指導案

6月4日(木) 5時限目
 クラス 海洋技術科1年
 担当 住谷 正敏

単元名	航海に関する情報			
単元の目標	船舶を安全かつ効率的に航海させるために必要な湾岸事情, 水路, 航路標識, 海象など航海に関する情報の活用方法について取り扱い, 航海に必要な各種情報を収集し, 活用することができるようにすることをねらいとする。			
資料名	「航海・計器」海文堂出版			
本時の目標	安全かつ適切な航海をする上で必要となる方位の種類及び方位の読み方について学び, 理解できる。〔知識・理解〕			
評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	航海・計器全般に関心を持ち航海術に必要な方位と針路の種類方位の読み方について知識を習得し意欲的に取り組もうとしている。	習得した知識を総合的に活用し課題を発見・理解して適切に判断することができる。	習得した知識を総合的に活用し現象を適切に判断したうえで考察することができ, 技術として活用することもできる。	航海術に関する知識を習得し活用法を理解している。
区分	学習内容	指導の内容	時間	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> 今回、実施する授業の内容について(航海に関する情報)方位と針路の種類, 方位の読み方について説明する。 	方位と針路について教科書の図解等を提示して説明をする。	10分	内容についてノートに記入しているか机間指導をして確認をする。
展開	<ul style="list-style-type: none"> 方位と針路の種類と説明を聴く。 ① 真北・真方位 ② 磁北・磁針方位 ③ 磁気とコンパス北を基準にしたコンパス方位について説明を聴く。 方位には用途によって誤差があるということをノートに記入する。 16方位についての説明を聴く。 理解した内容をノートに記入する。 	<p>0° から時計回りに360° まで測って表すことについて説明をする。そして, 最初に自分のいる位置で東西南北を記入するように指示する。その内容について机間指導をして確認をする。</p> <p>方位や針路を測る基準となる北には3種類あることを説明する。</p> <p>3種類の方位には用途によって誤差があることを確認できるように説明し, ノートに記入するよう伝える。</p> <p>4方位から8方位, 8方位から実際に必要となる16方位を説明する。その内容についてノートに記入するよう指示する。その後, 生徒に16方位について説明するように発問して知識の習得の確認をする。</p>	30分	理解しにくいそれぞれの特徴については, 黒板で示しながら説明をする。そして, 生徒に質問しながら理解度の確認をする。また, 机間指導によりノートの記入状況を確認する。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 小テストに取り組む 	実際に16方位が記入できその16方位を360° 方式で記入できるか小テストを実施する。〔知識・理解〕	10分	座学で学んだことをどの程度理解したのかを小テストで確認して, 次回の授業では, 生徒が多く間違った部分について補足説明できるように準備する。